

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 高周波熱錬(株)赤穂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

環境方針

理念

高周波熱錬株式会社は、かけがえのない地球の環境保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、経営活動の重点課題としてとらえ、地球、地域社会の環境保全を積極的に推進する。

方針

クリーンな高周波誘導加熱技術分野のパイオニアカンパニーとして、次の事を実施する。

- (1) 製品の開発・生産活動の各段階及び製品・サービスの提供において、環境汚染の予防に努めるとともに創意工夫で環境負荷の継続的改善に努める。
- (2) 継続的改善として、省エネルギーの推進と省資源、リサイクル化、廃棄物の削減を図る。
- (3) 環境保全に関連する法規制及び協定その他の要求事項を遵守し、環境マネジメントシステムを行う。
- (4) 具体的な環境目的及び目標を定め、これらの達成に努めるとともに、定期的に見直し、必要に応じて改訂する。
- (5) この環境方針を達成するために、当社の関係者を含む全従業員は、環境マネジメントシステムを遵守する。

この環境方針は、当社の全従業員に周知徹底し、社外からの要求に応じて公開する。

1-2 環境保全活動に関する組織体制

環境保全委員会 (委員長:工場長)

委員会の構成

	責任者	推進者
製造1課	課長	グループ長
製造2課	課長	課長補佐
製品工程課	課長	課長補佐
業務課	課長	課長
品質保証課	課長	課長補佐
生産技術課	課長	主任
省エネ委員会	エネルギー管理士	

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量 4.5%減(前年度比) 生産量 4.3%増(前年度比) サイリスター式発振器 75KW×8 台をトランスター式発振器 100KW へ 1 台更新済 3.02KL/年削減。 引抜設備 1 台 37KW を高効率原動機へ 1 台変更済。0.70KL/年削減 	<ul style="list-style-type: none"> サイリスター式発振器 75KW×8 台をトランスター式発振器 100KW へ更新(残り 7 台)今年度 1 台実施予定 ITW 引抜設備 37KW を高効率電動機へ更新 冷却用ポンプ をウルトラ効率モーターへ更新 高圧キュービクル変圧器をトランス変成器へ更新(毎年 1 台) 第 1 工場マルチライトランプ を LED へ更新
自動車公害対策	アイドリングストップの徹底 <ul style="list-style-type: none"> 積載率 PC10.2%減 フープ 13.5%減 	<ul style="list-style-type: none"> 入場時間を決めて待機時間を減らす。 トラック使用台数を、10%減らす。 中継倉庫の活用を、進める。 他製品との、混載便を増やす。
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	冷暖房温度の適正化(室温目標) 夏季 26℃±2℃ 冬期 20℃±2℃	クールビズ・ウォームビズの推進 夏季 28℃に設定
廃棄物対策	再資源化(売却) 鉄粉ショットスケール 102t スクラップ 1,047t 鋳さい 0t	
廃棄物対策	紙使用量の削減 H26. 668,500枚 35,000枚減(H25年度比) H27. 659,000枚 9,500枚減(H26年度比) 資源ゴミ H26. 4,924kg 17kg減(H25年度比) H27. 5,111kg 187kg増(H26年度比)	両面コピーの推進 資源ゴミ範囲の拡大

